

日中友好新聞

府連通信

2020年10月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:info
 @jcfaosaka.org
 ホームページ
 http://
 jcfaosaka.org/

協会創立70周年記念シンポ 多彩な報告 ポストコロナやアメリカの動向など

日本中国友好協会（日中友好協会）は、中華人民共和国建国の翌年、中国侵略への反省と平和を守るため1950年10月に結成され、創立以来今年で70年を迎えます。創立を記念したシンポジウムが9月26日東京都で開催されライブ配信されました。

シンポジウムのパネリストは進藤榮一さん（筑波大学名誉教授、元日本華人教授、元日本華人教授会代表）、山本恒人さん（大阪経済大学名誉教授、日中友好協会大阪府連副会長）の3氏。司会は協会の大西広副理事長（慶応大学教授）です。



進藤榮一さんのテーマは「ポスト・コロナに生きる日本の道」。コロナ危機で加速するアメリカ衰退後の日本外交が「日米機軸」を離れて、ユーラシアに回帰しなければならぬ。また、その際、戦後の日中友好運動を振り返りながら、「外交を語る」ことの重要性を話されました。

山本恒人さんは、経済学者として日中関係の改善に果たしている財界の役割に注目し、松下幸之助や新日本製鉄の稲山嘉寛らは自分たちの技術移転で、後に中国が日本を凌駕することを

女性部 映像で学ぶ「隠された毒ガス兵器」 今も毒ガスの被害が続出

コロナ禍で予定した催しを中止せざるを得ない中、まずは学習を9月24日（木）定例の運営委員会、9月12日に放映されたE.T.V特集「隠された毒ガス兵器」を視聴しました。

敗戦まじか、日本軍は国際法で禁じられている毒ガスを中国で使用。本土決戦に備えて大量の毒ガスを製造備蓄し、密かに訓練を行っていたことが、当時の少年兵（現在は90歳を超える）たちが証言します。

関東軍の「マルタ」実験の事実、米国側の毒ガス製造実験の映像は、見るのもつらいものでした。敗戦後、製造された毒ガスは、中国では秘密裏に処理

城北支部 香港問題学習会開く 中国政府の対応の問題点も解明

城北支部は9月20日（日）、山本恒人府連副会長を講師に「香港の状況・基本的な見方」と題して学習会を、最近入会された数名の方を含め12名で開催しました。

山本先生のパワーポイントを使った分かりやすい講演で、香港問題の本質と中国政府の対応の問題点が参加者の理解を深めたことと確信します。



講演の後、佐藤支部長手作りのおでん

で絵本三昧の生活はとても幸せな時間でした」と徐々に元気な顔で参加の委員さん。女性はやっぱり集まりおしゃべりする事が元気の源と実感しました。

11月26日（木）2時から 上映会 府連205教室

「私は誰 我是誰」

中国残留邦人3世の問いかけ（NHK Eテレ）戦争末期から敗戦のなか、国策により中国の地に捨てられた残留邦人。中国で迫害を受け、帰国後も差別を受け続けた祖父母、父母たちの人生を通して3世たちが自身の存在を探る。多数ご参加ください。

中国百科検定近づく、切29日 受験申込受付中です。

本年三月試験（コロナ禍で延期）受験申込者のみなさん！第8回か第9回どちらかを選んで振替受験が可能です。手続きをお進めください。

新たに申し込まれるみなさん！直接申込されても結構ですし、府連事務所での一括受験申込も可能です。第9回試験は（来年3月20日実施）は12月に改訂、ホームページに掲載される新しい「増補版テキスト」



近藤好幸 さん
 材料代 千円

西支部 定期総会開く

10月4日に支部総会が18名が参加して国労会館で開催されました。5月に亡くなられた浜田文雄さんを偲んで黙祷、議長に山本さんを選出、報告は平松さん、各担当から発言があり新役員を選出しました。12月6日の干支きりえ講習会の案内もありました。



日中友好協会 干支きりえ講習会の案内もありました。

干支きりえ講習会

12月6日（日）2時から
 文化センター205号室
 講師 近藤好幸 さん
 材料代 千円



ネットで姫田さん講演 南京の会で 撫順から千人の戦犯が無事帰国

10月3日、南京の記憶をつなぐ2020プレ企画大阪講演会が、東京からのネット中継で姫田光義さんが「人から鬼へ 鬼から人へ、撫順の奇蹟とはなにか?—中国におけるBC級戦犯裁判について—」と題して講演されました。

大阪会場には70名が参加し、1時間にわたる姫田さんの講演と松岡環さんの「南京事件での死体処理について」の報告に見入っていました。

撫順の奇蹟とは? 新中国はソ連に抑留されていた日本人千人近くが、「戦犯」としてソ



姫田講演は12月5日の「南京軍事法廷と東京裁判」のプレ企画として開催されました。

講演に先立ちDVD「泥にまみれた靴で—未来へつなぐ証言—(日中友好協会作成)が上映されました。

香港問題徹底解説

9月13日午後「どうなる香港」をテーマに、神戸市内で学習講演会が60名の参加で開催されました。



講師の山本恒人府連副会長は、6月30日に即日施行された香港国家安全維持法の凶解とポイントを説明、1842年のアヘン戦争以後イギリスの占領により植民地支配となり、1997年返還により一国二制度が開始され、中国の大国主義や覇権主義の問題点を徹底解説されました。

日中文庫担当者からおわびとお知らせ

日中文庫への呼びかけの中で、府連通信8・9月号で趣旨の違うことが載り、皆さま方に混乱を来たしましたことおわびいたします。

再度検討を行い、百科検定に役立つ文献等、会員および受験者に具体的な事を聞き、その文献名を寄贈していただきたいと思います。



堺支部 戦争展に教科書問題を展示 田丸さん作文コンクールに入賞

『アジアから問われる戦争展』が9月21、22日の二日間、エルおおさかで開催されました。コーナーの中で平和を願う市民が延べ375人も参加し、熱心に各団体の展示やVTRを見入っていました。

堺支部は、教科書問題をとり上げ、実際の教科書も展示しました。

VTRは東大阪での育鵬社教科書採択に反対する市民運動を描いたドキュメンタリーを上映しました。折しも、東大阪や堺、大阪市などで育鵬社教科書が不



採択となる、という成果を得た。多くの参加者の目をひきました。会場にはVTRに登場した東大阪の丁章さんも来られました。

その前日、田丸さんが入賞のうれしいニュースが飛び込んできました。「6月に募集された作文に『忘れられない中国滞在エピソード』を応募したところ、思いがけなく一等賞6名の中選ばれました。中国滞滞在事務局の編集に即したオリジナリティーあふれる作品が多数応募されました。

話がかかり、びっくりして恐縮の限りでした。二等賞が24名、三等賞が50名でした。そのうち東京で授賞式があるそうです。受賞者全員の作文を載せた冊子ができると聞きました。(田丸)

戦争展の成功と田丸さんの受賞は、堺支部のみんなを大いに勇気づけるものです。そして、これからの日中友好、日中不再戦、平和憲法を守りぬく運動を元気にすすめていくエネルギーになりました!(藤田大輔)

日本橋報社主催の「忘れられない中国滞在エピソード」第3回作文コンクールには、思わぬ誰かに教えたくなるような中国でのとっておきのエピソードや、学びと感動のストーリー、火鍋を楽しみます。重陽節は歴史もあり重要な節句ですが、現在では中秋節ほどは重視されていません。

陳式太極拳 基本功や套路を

さわやかな秋晴の9月21日、陳式簡化太極拳特別講習会第2回目が大阪市内の会場で23名の参加で開催されました。

この講習会は陳式簡化太極拳テキストが5月に(新版)発行されそれを記念して、10回コースで8月から関西ブロックが主催して開催されました。今回は恒岡講師の指導で、基本功や呼吸法、手型、基本手法などを練習し、後半は套路の予備勢から白鶴亮翅までを繰り返して練習しました。



練習後参加者から、力を入れすぎていると指摘され、ヒネリと力を抜くことは難しい、陳式はやればやるほど奥が深いことが分かった、など感想が寄せられました。

各種講習会・支部行事案内

10/10(土)14:00~ 国労会館 「教科書問題講演会」

10/28(水)~11/1(日) 「全大阪きりえ美術展」

天六 大阪市立住まいのミュージアム・ギャラリー

11/29(日)午後 ドーンセンター 第8回中国百科検定試験 主催:日本中国友好協会

12/5(土)1時15分からエルおおさか南館5階ホール 南京軍事法廷と東京裁判 上映・講演・トーク 主催:南京の記憶をつなぐ2020

12月6日(日)午後 干支きりえ教室 府連教室 大阪西支部主催

12/12(日)1時からPLP会館5階大会議室 南京証言集会 南京占領はいかになされたか! 主催:南京大虐殺60周年大阪実行委員会

重陽節 中国の「敬老の日」

中国で10月25日(旧暦9月9日)は、五節句の一つで「重陽節」です。中国がこの日を「老年節(敬老の日)」と定めて8年目になり「菊の節句」でもある。

重陽は陰陽道で奇数を陽とし、陽の気の最大値「9」が重なる日で9月9日を尊ぶ。

この日に食べる「重陽ガオ」というお菓子が有名ですが、繁栄や向上の意味合いを持っています。また菊の季節であるため菊花酒や菊花茶や菊花火鍋を楽しみます。